

平成25年6月18日（火）15:30～17:00  
西脇市総合福祉センター 集会室

- 出席者
- ・ハローワーク西脇
  - ・地域活動支援センター ワークホームタンポポ
  - ・地域活動支援センター なかよし工房
  - ・小規模作業所 杉の子ルーム
  - ・自立訓練ホーム わっしょい
  - ・就労継続支援B型事業所 虹の会工房
  - ・就労継続支援B型事業所 ワークステップかりん
  - ・共同生活介護・共同生活援助事業所 ホームひまわり
  - ・居宅介護事業所 社協ヘルパーステーション
  - ・障害児学童保育事業所（希望の郷）
  - ・西脇病院 看護課
  - ・訪問看護事業所 めぐみナーシングケアセンター
  - ・訪問看護事業所 桜ヶ丘訪問看護ステーション
  - ・北はりま特別支援学校
  - ・身体障害者福祉協会
  - ・ふらっと・あい（余暇活動をつくるサークル）
  - ・ましゅぽか - West（保護者の交流の場）
  - ・精神障害当事者（NEXT利用者）
  - ・精神障害当事者（NEXT利用者）

- 事務局
- ・福祉総務課
  - ・相談支援事業者 ういーぶねっと

22名

#### 福祉総務課

- ・開会
- ・西脇市障害者地域支援会議について  
北播磨障害者（児）地域自立支援協議会が広い地域をカバーしているため西脇市の実情に合わせて課題を検討する場としては不十分。この会議は西脇市の困り事を検討する会として位置づけられる。
- ・運営会議について  
運営会議に集まっている事業者、当事者等が支援の中で感じる問題、地域の中で感じる問題等について、それぞれの立場でできることを検討したり、こうなればいいといった提案をすることで解決方法を考えていく場。

各参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介</li> <li>・事業所、活動について説明（事業所概要 参照）</li> </ul>
北はりま特支学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北はりま特別支援学校の在校生が近年急増しているため、カリキュラムである職場実習の受け入れ先、高等部卒業後の進路（一般企業、福祉事業所）が不足している。現在、会議室等を教室に転用して対応。25年夏にはグラウンドにプレハブの教室を建設予定。数年後の卒業生の進路確保が深刻な課題となっている。（全国的に同じような状況となっている。）</li> </ul>
西脇病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のケアマネ等と連携してスムーズな看護、1人1人に応じたケアを提供したい。</li> <li>・現在、7：1の看護体制を整えている。</li> <li>・地域に貢献したい。</li> </ul>
社協ヘルパーst.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルパーとして家の中に入ると、日中何もしないで過ごしている人も多いことを実感する。その人に合う就労場所やきめ細かな就労支援があればと思う。</li> <li>・生活環境が悪く、生活全般の支援が行き届いていないケースもある。ケアマネのような役割をする人が必要ではないか。</li> </ul>
めぐみ訪看 st.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状態が悪い中、就労を希望される方がおられたら、ういーぶねっとと連携することもある。</li> <li>・精神障害のある方へのアウトリーチ（往診）ができる体制があればいいと思う。</li> </ul>
学童保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西脇市に精通したスタッフがいなかったため、初めて迎える夏休みを利用者とどこでどう過ごそうか悩んでいる。西脇市の資源マップがあればいいと思う。</li> </ul>
ハローワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年3月の時点で専門援助部門に登録されている方は318名。【身体：152名、知的（発達も含む）：69名、精神：94名、難病：3名】</li> <li>・専門援助部門では、就労訓練の場の紹介、職場定着指導（1年間）、職場開拓も行っている。また、北播磨障害者就業・生活支援センターや兵庫障害者職業センターと連携して就労支援を行っている。</li> </ul>

わっしょい	<ul style="list-style-type: none"><li>・開所して10年経つが、今以上のことができにくいことが課題だと思っている。</li></ul>
タンポポ	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業所の広さに対し利用者が多い。</li><li>・様々な特徴を持つ自閉症の方が利用されている。同じ部屋では過ごしにくい時もあるが、部屋がない。</li></ul>
ひまわり	<ul style="list-style-type: none"><li>・H24年6月にNPO法人 すまいるを設立。現在G.H.、ケアホームとなる建物を中区に建設中。25年11月開所予定。定員4名 + 体験利用のための部屋1室。</li><li>・楽しい生活の場を提供したい。</li></ul>
杉の子ルーム	<ul style="list-style-type: none"><li>・定番の自主製品（シャツ型コースター）はスタッフが中心になって作製している。</li><li>・利用者が高齢化している。</li><li>・事業所として成り立たなくなるほど利用者が減っている。</li></ul>
NEXT 利用者	<ul style="list-style-type: none"><li>・NEXTは障害があっても働ける場所。いろんな仕事があるので、もっとたくさんの人に来てもらって一緒に働きたい。</li></ul>
NEXT 利用者	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分が配属されているところは1人職場なので寂しい。</li></ul>
ふらっと・あい	<ul style="list-style-type: none"><li>・北はりま特別支援学校歴代PTA会長を中心に元校長や教諭を巻き込み、主に余暇活動の場として活動。</li><li>・代表者の自宅に陶芸窯やろくろを設置。月に1～2回のペースで陶芸作品作りに取り組んでいる。</li><li>・人生楽しく過ごせるように。</li></ul>
ましゅぽか	<ul style="list-style-type: none"><li>・同じように障害のある子を育てている仲間と交流することで、がんばってこれたとの経験がある。</li><li>・軽度の障害のある子どものお母さんたちには誰かと相談したり思いを出し合う場が少ないように思う。</li></ul>
身障協会	<ul style="list-style-type: none"><li>・この場におられる事業者の皆さんにはご苦勞かけてすみません。いつもお世話になりありがとうございます。</li></ul>
なかよし工房	<ul style="list-style-type: none"><li>・精神障害のある方の居場所を提供している。</li></ul>

かりん

・高齢利用者の支援が課題。帰宅後の生活へのアプローチも必要か。

虹の会工房

・利用者の年齢が18-55歳。体力にバラつきがあり、みんなで一つのことに取り組めない。  
 ・内職作業が途切れると困る。  
 ・保護者が高齢化しており、日中活動だけでは見抜けない課題があるのではないかと思う。泊れる場所をつくりたい。

福祉総務課

・市 福祉総務課の業務について  
 手帳交付、自立支援医療、障害程度区分認定調査、福祉サービス受給者証等の手続きを行っている。  
 ・「こんなサービスないの？」といった問合せは、福祉総務課か相談支援センターまで。

## 参加者間の交流（質疑応答・意見交換）

## 就労について

ふらっと・あい

Q：（ハローワークに）障害者を企業につなぐ時の苦勞を教えてください。

ハローワーク

A：企業は軽度の身体障害のある方を求める。知的障害、精神障害のある方を雇用してもらうためには、決定権のある企業のトップに理解してもらうことが必要。  
 また、就労を中断するケースについて、家庭の状態が仕事に影響することがある。家庭と職場をつなぐ役割の人が必要。

学童保育

Q：ハローワークでは、障害程度区分をどのように活用しているか？

ういーぶねっと

A：障害程度区分は福祉サービスを利用する際に必要になるもの。一般企業で就労する場合は福祉サービスの利用とはならないので、活用する場面がない。

## 西脇市の社会資源について

ましゅぽか

Q：移動支援をしてくれる事業所がわからない。

福祉総務課

A：ハッピーネット（社協）かブリッジ（みつみ学苑）

ましゅぽか

Q：市内に放課後や夏休み期間中のみに利用できる施設がないので困る。

福祉総務課

A：現在ある学童保育は場所が狭く受け入れ人数に限りがある。夏休み中の過ごし方についてもふれあい学級の拡大を検討している。

学童保育

Q：市内に生活介護の事業所はあるのか？

A：ない。

虹の会工房

→ この問いに関連し、  
虹の会工房で、いずれ生活介護事業を行いたい。

その他

- ・北はりま特別支援学校在籍の西脇市在住の児童→ 37名
- ・福祉サービスの利用者は、手帳所持者、自立支援医療対象者の約1割。

次回運営会議 9/3 (火) 15:30～  
萩ヶ瀬会館